

『私たちと森のこれから』

# 村上市森林組合

〒959-3905 村上市府屋 121-2  
 電話番号：0254-77-3121  
 Fax 番号：0254-77-2908  
 URL:https://e-woods.com



定刻となり、富樫副組合長の開会宣言で総代会が始まりました。

齋藤組合長挨拶の後、新潟県村上地域振興局農林振興部長様（代理、市村課長）、村上市長様（代理、大滝山北支所長）、新潟県森林組合連合会代表理事会長様（代理、大川原副部長）よりご祝辞を頂戴いたしました。

議長には、越沢の齋藤通明氏を選出し、第1号議案、第2号から第7号議案、第8号議案をそれぞれ上程し質疑を経て全議案が原案どおり可決され、午後3時15分閉会しました。

なお、議案の内容については、配付の議案書をもってご報告いたします。

5月30日（火）、午後1時30分から、村上市さんぽく会館において、第53回通常総代会を開催いたしました。

当日は、本人出席62名、書面出席74名、合わせて136名（出席率71・5%）の出席をいただきました。御礼申し上げます。

## 第53回通常総会を終える！

ー 全議案を原案どおり可決ー

○議案は、次のとおり

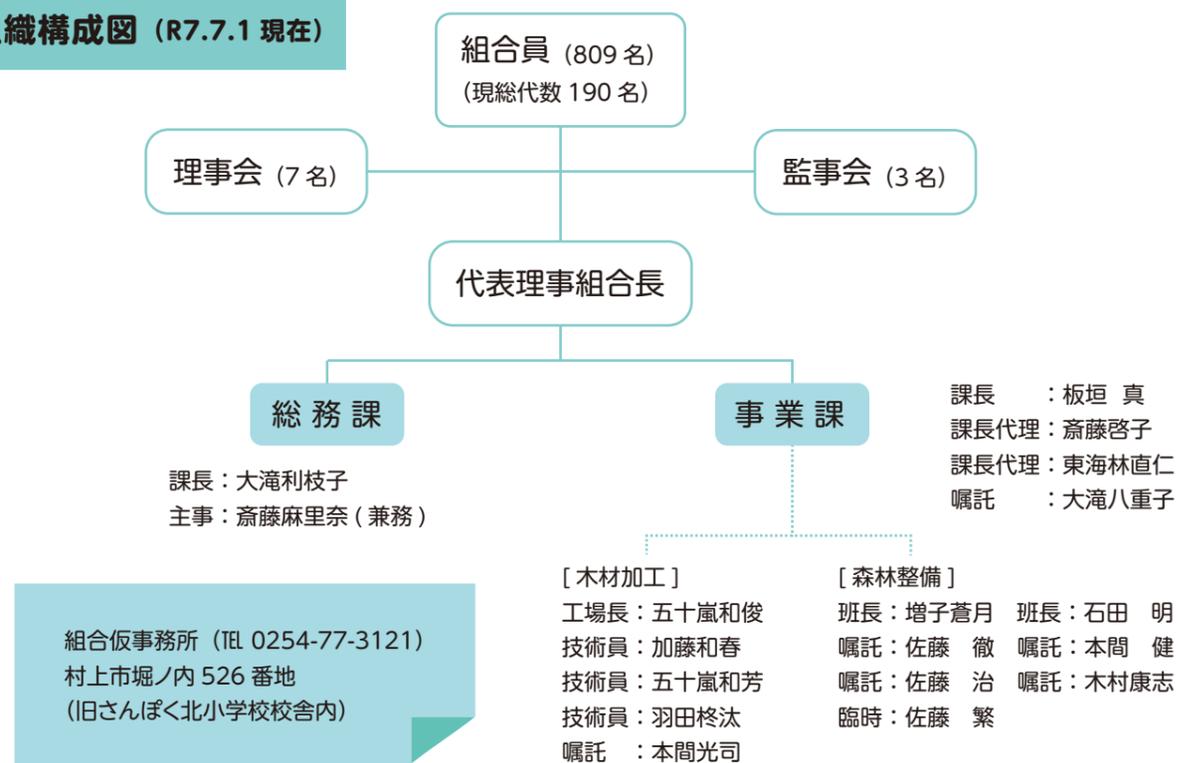
- ・ 第1号議案 令和6年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について
- ・ 第2号議案 令和7年度事業計画案の承認について
- ・ 第3号議案 令和7年度賦課金の賦課及び手数料並びに徴収時期の決定について
- ・ 第4号議案 令和7年度借入金金の最高限度額及び借入先金融機関の承認について
- ・ 第5号議案 1組合員に対する貸付金の最高限度額及び貸付金利率の承認について
- ・ 第6号議案 余裕金預け入れ先金融機関の承認について
- ・ 第7号議案 役員報酬の承認について
- ・ 第8号議案 定款及び附属規程の一部改正について  
 （特別決議事項）

## 2課を統合し、「事業課」としてスタートしました!

組合業務の事務体制については、昨年7月に木材加工課を移転し、全般にわたる業務を旧さんぽく小学校校舎内の仮事務所で行っています。

そもそも事務職員は以前より少人数であったこともあって、これまで以上に業務の連携を深め、効率的な事務処理を行うための体制として、長年親しんできた木材加工課と森林整備課を統合し、4月から新たに「事業課」としてスタートしました。

### 組織構成図 (R7.7.1 現在)



- 【第1回理事会報告】 令和7年4月24日
    - ◎ 議決事項◎
      - 一 村上市森林組合職制及び事業分掌の一部改正について
      - 二 退職給付金の支給（その1）について
      - 三 退職給付金の支給（その2）について
  - 【第2回理事会報告】 令和7年4月30日
    - ◎ 議決事項◎
      - 一 第53回通常総代会の開催案について
      - 二 第53回通常総代会提出議案について
  - 【第3回理事会報告】 令和7年5月30日
    - ◎ 議決事項◎
      - 一 各理事の報酬額、支給時期、支給方法について
  - 【第4回理事会報告】 令和7年6月10日
    - ◎ 議決事項◎
      - 一 村上市森林組合就業規則の一部改正について
- 次回 令和7年7月下旬 予定

7月から「完全週休二日制」となります。ご理解をお願いします。

林業事業体の多くは、現場職員の確保に関し、共通して「求人をかけても人が来ない」、「辞める人が後を絶たない」などの声があり、当組合においても以前から人の出入りが激しく、今もなお、その状況は変わらないようであり、人材の確保には大変苦慮しています。

現在、顕著な人口減少と少子化などの影響から、人手不足の状態にあり、特に山北を含む近隣の市町村でも深刻な状況です。このため、仕事を探している、特に若い人のニーズに対し、組合の雇用条件が合っているのだろうかと考えてしまいます。できれば待遇面を含めた雇用条件を良くしたいのですが、そう簡単な話ではありません。でも給料が安定している、合わせて休日も充実していることは重要なポイントです。

当組合では、給料表に基づく月給制です。給料が高い方とは言えませんが、ボーナスもそれなりに支給できています。また、休日は、第2・4・5土曜日を含め年間104日です。こうしたことも含めても若い人のニーズに合っているのか、就職先としてふさわしいか、考えさせられることばかりです。

このため、若い人材の確保、これを第一に考えますと、休日のあり方も変えていかなければと思います。土曜日すべてを休みにするという事は時代の要請でもあり、地方においてもごく当たり前の風潮になってきたのではとも思います。

まずは若い人の目線に合わせる事が先決です。職業として林業を選択してもらえるよう、むしろ時代に合う雇用条件に変えていく必要があります。

そういう意味から、完全週休二日制も大きく左右しているのではないかと、避けては通れないことなのではと思います。でも、山北ではまだまだ完全週休二日制が浸透していません。たとえ当組合が完全週休二日制を導入したとしても必ずしも応募の決め手になるとは断定できません。しかし、現状を変えていくとする姿勢を示すことは大事なことです。

一方、これにより年間21日ほど稼働日数が少なくなります。売り上げにも影響がでますので効率性を高めコストを下げるなど、経費節減の取り組みを進めてまいります。

また、人材確保の面から、今後も働き方改革を進めていかなければなりません。メリハリのある職場、働きやすい職場を目指します。社会情勢からも今までどおりでは済まない労働環境となっていますので、このことにもしっかり取り組んでまいります。

今般の総代会において完全週休二日制の導入をお願いさせていただきました。組合員の皆様には是非ともご理解をいただきますようお願いを申し上げます。

実施時期は、周知も含めこの7月からとさせていただきます。よろしくお願いいたします。



職員を募集中です!

お問い合わせください。ご応募お待ちしております!

お問い合わせ先 総務課 TEL: 0254-77-3121

いよいよ「環境パイル」を製造・出荷!

木材加工部門は、長年にわたり丸棒加工を主力とし、災害復旧をはじめとする公共工事で使用される土木資材を中心に受注製造をしてきましたが、年度により発注量が左右されやすく収益確保の安定性に乏しく、かつ公共工事への依存度が高く先行きの見通しが立っていない状態であったため今期はその状態が極端に現れ、受注量が激減し大幅な減収となりました。

このため、民間需要の掘り起こしにより、安定的かつ通年で量産可能なものを見出していくことがどうしても必要でありました。

そこで、今年2月発行の「組合だより」でお知らせしましたように、住宅地等での軟弱地盤補強用の基礎杭、通称「環境パイル」というものですが、販売先である兼松サステック株式会社（本社：東京都）との間で交渉を進めてきた結果、去る4月1日に同社と環境パイル供給契約書を締結しました。

これにより、新潟県内の製造拠点工場として、本格的に環境パイルを製造、出荷することになりました。従来の木製型枠パネルと合わせ、工場の二本柱として位置付けています。



5/26 環境パイル初出荷



環境パイルは、全国の約1割が新潟県内で使われており、県内での令和5年度実績は、住宅及び非住宅で395件、使用材積は2,179立方メートルで、比較的旺盛な需要があると受け止めています。

防腐処理については、注入する防腐薬剤(LC-350)がこれまでと異なる薬剤のため、製造は4月中旬からの開始となりました。工場の製造能力を高め、徐々にその数量を増やしていく予定です。

環境パイルの県内需要は4m換算で年間約3万5千本余りであり、当組合工場では、年間で製造する数量目標をその半分の年間約1万8千本、月平均にして1,500本ペースを目指してまいります。